

日本ボーイスカウト茨城県連盟

SCOUTING 茨城

日本ボーイスカウト茨城県連盟は、社会の変化に即応して、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、問題をより良く解決する資質や能力を高める活動を行っています。また、その中で、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を養い、そして、たくましく生きていくための健康や体力を獲得することを重点的に取り組んでいます。



2025年度撮っておきの写真コンテスト& 茨城県連盟カレンダープロジェクト 優秀賞作品より

「夏の冒險！はじめてのカヌー体験」（水戸第8団 ボーイ隊 副長 伊祁徹也氏 撮影）

2025年8月24日 那珂川（常陸大宮市）にて

自然の美しさとアクティビティの楽しさが感じられる一枚です。

活動的で自立した青少年を育てる ★ボーイスカウト!

理事長挨拶

つなげ、 友だちの輪！



日本ボーイスカウト茨城県連盟
理事長 宮田 俊晴

スカウトの皆さん、指導者の皆さん、日頃よりスカウト活動にご尽力いただきありがとうございます。

8月に大和の森 高萩スカウトフィールドで開催された第21回茨城県キャンポリーには、304名のスカウト・指導者が参加するとともに、186名のビーバースカウト・カブスカウト・指導者・保護者見学者が見学に訪れました。9年ぶりの大きな大会で、地区単位で合同隊を編成し、複数の班が互いに競い合うボーイスカウト本来の活動を楽しんでいる様子が見られました。3泊4日のキャンポリーを終え、家路に帰るスカウト

たちの笑顔は、自信と誇りに満ちたものでした。

日本のボーイスカウトの登録者数は減少の一途をたどっており、2025年8月末で69,718人（前年比4,719人減）となっています。茨城県内でも、少人数の隊が増えており、日常の隊活動では、複数の班が競い合う活動がなかなかできない状況です。しかし、光明も見えています。茨城県連盟では、ボーイスカウト茨城県連盟維持財団の助成により、団・地区が行うワクワク自然体験あそびに不織布バッグやのぼり旗などの物的支援と経費の補助の財政的支援を行っています。2025年度の登録では、ビー

バースカウトが117.5%、カブスカウトが前年度比100.8%と増加に転じています。茨城県連盟では、2025年度の重点施策としてすべての団がワクワク自然体験あそびや入団説明会等を開催することを目標としています。これらをとおして友だちを増やし、活動をもっともっと楽しいものにしていきましょう。

12月7日（日）にはビーバースカウト・カブスカウトのIB-グランプリが予定されています。また、9月27日（土）には第1回のベンチャーラリー実行委員会が開催され今年度のベンチャーラリーの計画も始動しました。10月18日（土）・25日（土）には、ローバースカウトが災害支援募金を水戸駅・守谷駅で実施します。来年8月開催の第19回日本スカウトジャンボリーの参加予定申込みも

始まりました。すべての部門で、楽しい活動を展開するとともに、友だちにも参加をよびかけ、仲間を増やしていきましょう！

01

第21回茨城県キャンポリー

8月8日～11日の間 高萩スカウトフィールド大和の森において第21回茨城県キャンポリーを開催しました。前回、前々回とコロナでの中断があり9年ぶりの開催となりました。

参加者は

参加隊：33個団、スカウト145名、指導者61名

奉仕者：98名

見学者：11個団、スカウト・指導者142名、

保護者・兄弟姉妹など44名

の合計490名の皆さんが出でました。

スカウト達は様々なプログラムに挑戦し、他団のスカウト達とも共に活動して3泊4日のキャンプを大いに楽しみました。

来年は第19回日本スカウトジャンボリーが広島県で開催されます。そして再来年には第26回世界スカウトジャンボリーがポーランドで開催されます。今回のキャンポリーが弾みとなって多くのスカウトが参加する事を期待しています。





02

第2地区 インダバ2025

(指導者のための研修&交流会)

2025年9月20日～21日に、指導者のための研修&交流会「インダバ2025」が開催されました。

今回は、ボーイスカウト1級レベルのスキル体験（地図とコンパス）をインストラクターより指導を受けました。

初めてコンパスを使用する指導者から実際に隊で指導している指導者までレベルはまちまちでしたが、実際にスカウトがハイキングをしながら活用するのに役に立つ方法を教わった指導者の中には、「目から鱗が落ちた気持ちだ。早速試したい。」という喜びの声があがっていました。

また、地区の仲間だから気兼ねなく聞ける、「いまさら聞けないスキル（基本動作編）」も行いました。

夜は、参加指導者の年齢に合わせて、ヘルシーな野菜中心のメニューを囲んでの交流会、活動は勿論のこと、ボーイスカウト以外の話にも花が咲き交流が深まりました。

03

第5地区 第5地区主催定型外訓練

第5地区開設の定型外訓練（楽しいプログラム開発）が令和7年10月5日に開催されました。

内容は、

- ・セッション1：いまさら聞けないプログラムプロセスと年代の特性
 - ・セッション2：各部門のプログラムを体験しよう
 - ・セッション3：プログラムヒント集を活用しよう
 - ・セッション4：プログラムを開発してみよう
- でした。

ビーバーからカブ、ボーイ、各年代の行動特性を再確認し、どういうことに興味を持っているか、などを話し合いました。各部門のプログラム体験では、いずれも割り箸を使ったプログラムで、ビーバー部門では「忍者ごっこ遊び」で手裏剣を作り、ボーイ部門では、「水害が発生した。霞ヶ浦を挟んだ友団を助けに行こう！」という想定で、通信手段のための信号塔の模型を作りました。地球の大きさやピタゴラスの定理なども出てきて数十年前の知識を絞り出していた参加者もいました。

どうしてもマンネリになりがちなプログラム、ひと工夫で楽しいプログラムにできることを体験できたのではないかでしょうか。



04

総務委員会

団委員（長）のための講演会



令和7年9月28日（日）に県青少年会館にて「団委員（長）のための講演会」を開催しました。多くの団委員長が抱えている課題である「指導者の確保と育成（AIS）」について伊澤県コミッショナーに講演をいただき、問題解決のために何が必要か、種々の討議を行いました。難しい課題ですが、意識の向上には繋がったと考えています。

参考資料は以下のとおりです（日本連盟のHP）

- ・スカウト運動の成人に関する指針

<https://www.scout.or.jp/wp-content/uploads/2024/11/ais-SAJ-policy.pdf>

- ・指導者に関する指針

<https://file1.scout.or.jp/wp-content/uploads/2024/01/23181212/ais-guidelines-for-leader.pdf>

- ・隊指導者のためのJOBブック

（各隊別、団委員長向けがあります）

<https://www.scout.or.jp/member/manage-the-ais-tools>

05

イベント国際委員会

ベンチャーラリー2025の実施に 向けて

ベンチャースカウト（高校生年代）の交流と自発活動促進のため2016年以来毎年「ベンチャーラリー」を開催しています。

自分たちのやりたい事を自ら企画し、県内のベンチャースカウトに呼び掛けてみんなで実施する活動です。

今年度も各地区から実行委員を選出し、実行委員会を開いて協議しています。10月12日の2回目の実行委員会ではみんなで出し合った実施案を検討し絞り込みました。

昨年度はパラグライダー体験を計画しましたが、残念ながら悪天候で実施できませんでしたが今年度はどんな活動になるか期待が高まります。





SCOUTING 茨城

SCOUTING 茨城 2025年 第2号 通算55号 令和7年10月発行
発行 日本ボーイスカウト茨城県連盟
〒310-0034 水戸市緑町1-1-18 茨城県立青少年会館3F

※SCOUTING 茨城は、不定期で発行しています。

※SCOUTING 茨城は、県連ホームページからもダウンロードできます。

<http://www.scout-ib.net/>

※SCOUTING 茨城に掲載されている写真・文章等は著作権法等により保護されています。
著作権者に無断の複写・転載は堅くお断りいたします。